

● 取組事例詳細

企業／団体名称	池島フーズ株式会社
主要業種	食料品製造業

公開日：2011年03月17日

「協働の着眼点」に照らした取組内容（「ベーシック16」）

1 お客様を基点とする企業姿勢の明確化

全社員に企業姿勢を徹底するために、基本方針をまとめた計画書を毎朝読み上げ意識を高める。またお客様からの声を朝礼にて知らせ、情報の共有化、よりよい改善案に取り組む。



池島フーズ外観

2 コンプライアンスの徹底

全社員が意識を高めるように法令・基準などの改正時には、内容を回覧している。表示は研究開発部門が検討し、不明点などは行政機関・保健所に問い合わせる。全社員が内容を把握した上で、出荷時に担当者が再度表示を確認する。

社内に関するコミュニケーション

3 安全かつ適切な食品の提供をするための体制整備

安全・安心な食品を提供するために、全ての工程で食品危害の発生する可能性のある箇所を洗い出し、的確に作業が行われていることをチェック表を使いチェックと記録を実施している。また異物混入防止・衛生管理においても社員教育を徹底し食品危害の発生しない体制としている。

4 調達における取組

原材料の納入にあたっては、小麦粉・そば粉はロット毎に分析試験報告書を提出を依頼している。抹茶については、当社研究室において高速液体クロマトグラフィーにより成分分析、その他の添加物は、色・水分等を計測後に使用する。

5 製造における取組（製造）

保管・流通における取組（卸売）

調理・加工における取組（小売）

ロット毎の製造工程チェックリストに各工程の状況を記入し、製造時の状況が一目で把握できるよう工程管理をしている。毎日の清掃を徹底し、品質管理については水分・色彩・厚み・強度などを数字でデータ化している。



品質検査の様子

6 販売における取組

お客様に最適な状態で商品を提供するために、在庫管理を徹底し、また品質を維持するため温度管理をした倉庫で保管している。配送においては、運送会社と適切な取り扱い・保管状況の確認を行う。

取引先に関するコミュニケーション

7 持続性のある関係のための体制整備

供給元からの原材料の安全性のチェック、製造上の各項目のチェック、出荷時のチェック(社内規定)に加え、順次、流通先への訪問し、定期的に安全性のチェックを実施している。

8 取引先との公正な取引

取引先へ定期的に訪問し、自社製品のチェック、品質の確認、製品を通して共に販売、利益の上がる関係作りを目指している。

9 取引先との情報共有、協働の取組

原材料の状況を把握するために、定期的に取引先との打合せを設け情報交換・検討しお互いが成長していけるようにしている。

お客様に関するコミュニケーション

10 お客様とのコミュニケーションのための体制整備

お客様からの問い合わせへの対応は、社内経営基本方針に基づき、お客様第一主義に徹し、お客様のニーズ、市場からのメッセージを収集し、社内通達にて従業員と情報を共有している。

11 お客様からの情報の収集、対応、管理

お客様訪問をして、お客様の意見をよく聞き、社内に持ち帰り、業態、商品別に社内会議などで共有している。

12 お客様への情報提供

一部の商品についてはホームページで商品名、規格の情報提供を実施しているほか、お客様別にパンフレットを作成し、定期的に商品のご案内をしている。

13 食育の推進

食品展示会、物産展、講演会などで、弊社商品を調理・試食し、一般・プロのお客様に商品の確認と同時に商品特徴、調理方法、美味しい食べ方の案内を実施している。

緊急時に関するコミュニケーション

14 緊急時を想定した自社体制の整備

緊急時の対応についてはマニュアル化されており、指示・命令系統が明確になっている。また、事態に関しては適切に行動できるよう日頃より危機管理の意識を持たせている。

15 緊急時の自社と取引先の協力体制の整備

製品企画書の更新を定期的実施、取引先との連絡を密にし、安心、安全な商品の実現に向けて取り組んでいる。スピードをもって情報の共有、対応を明確にしている。

16 緊急時のお客様とのコミュニケーション体制の整備

経営計画書内に定めるクレームに関する方針に則して体制を整備している。